

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 シュエットぶち		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 24日		2026年3 月17 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	5
○従業者評価実施期間	2026年 2月 24日		2026年 3月 17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	教育、保育、医療の専門職を配置し重症心身障がい児や医療的ケア児を受け入れる環境が整っている。	活動前からださん元気で体操や作業療法士による機能訓練を行い体をゆめしてから活動に取り組んでいる	全員が機能訓練を取り組めるよう作業療法士から助言を受けながら行っていく
2	嚥下障害がある児童に対して対した食事を事業所で調理し提供する。	利用者の咀嚼や嚥下状態に応じて食事形態の調整や再調理を行っている。	食べやすい食材や調理方法の研究を行いスタッフ間で情報共有を行う
3	0歳からご利用できる3	子供の成長発達段階に応じたおもちゃや遊具を準備し、遊びを行っている。	子どもの発達の研修を定期的行う

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童同士の関りが少ない	利用時間と曜日異なるため集団が作りにくい	曜日の設定の相談と利用者の集客に努める。
2	児童発達支援で従事経験のあるスタッフが少ない	障がいや子育て経験をしていたスタッフは多数在籍しているが経験が乏しい	発達段階や保育の研修を行い、障がい児教育や子育てなどの経験を通して子供たちに支援できるよう努める
3			